



No. 94

こしがや シルバー だより



浄光寺 浄光観音さま

本冊子6ページの「私たちの住む街」シリーズで今回は「北越谷地区」を特集しています。元荒川の桜並木を取り上げないわけにはいかないのですが、多少季節感がずれていますが、ご了承をお願いします。

写真提供：島田 治会員

— 目 次 —

表紙	北越谷・元荒川沿いの桜並木と浄光寺観音さま
P 2	令和6年度定時総会報告
P 3	安全標語・クレーン撲滅標語受賞者発表
P 4~5	お仕事案内と女性会員の活躍
P 6	私たちの住む街「北越谷地区」
P 7	安全ニュース
P 8	入会のご案内、編集後記

発行 公益社団法人
越谷市シルバー人材センター
編集 広報委員会

〒 343-0023

越谷市東越谷1-5-6 産業雇用支援施設3F

TEL : 048-967-4311

FAX : 048-962-8300

E-mail koshigaya@sjc.ne.jp

U R L <https://webc.sjc.ne.jp/koshigaya/>

令和6年度 定時総会開催報告

第44回令和6年度越谷市シルバー人材センター定時総会が、令和6年6月21日（金）に開催されました。

本年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大規模会場での開催を自粛し、産業雇用支援施設3階のシルバー会議室で、規模を縮小して開催されました。

はじめに、中村次男理事長から開催にあたっての挨拶がありました。

中村理事長による開会宣言ののち、遠藤理事より資格審査報告がありました。総会員数1,260名に対し、事前に事務局に届いた委任状および当日の出席者の合計799名をもって、定款第18条に定める定足数を満たし、総会は有効に成立いたしました。

議長に島田理事が選任された後、議事に入り、報告事項5件ならびに議案1案件が提示されました。

審議の結果、報告事項に異議はなく、議案も原案のとおり可決承認されました。

その後は議長退任ののち、奥山茂子副理事長の挨拶をもって総会は無事終了いたしました。

今回可決された議案は、以下のとおりです。



定時総会の様子

報告事項

1. 監査報告
2. 事業報告
3. 収支補正予算報告
4. 事業計画報告
5. 収支予算報告

決議事項

1. 令和5年度 貸借対照表及び損益計算書
(正味財産増減計算書)、財産目録等の承認

安全標語・クレーム撲滅標語 受賞者発表

先般、越谷市シルバー人材センターで募集しました「令和6年度安全標語・クレーム撲滅標語」の受賞者を発表いたします。定時総会縮小開催に伴い、紙面での表彰に代えさせていただきます。

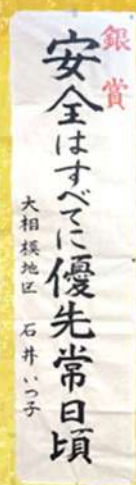
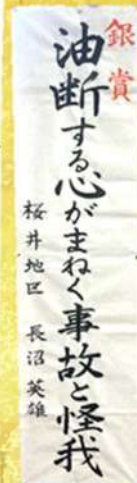
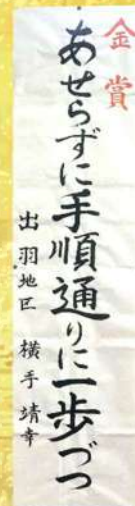
受賞者の皆様、この度はおめでとうございます！

安全標語受賞者

金賞：あせらずに 手順通りに 一步ずつ
(出羽地区 横手 靖幸会員)

銀賞：油断する 心がまねく 事故と怪我
(桜井地区 長沼 英雄会員)

銀賞：安全は すべてに優先 常日頃
(大相模地区 石井いつ子会員)

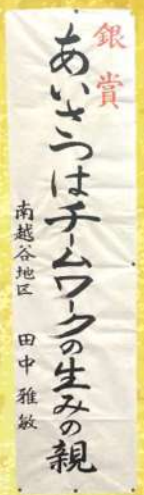
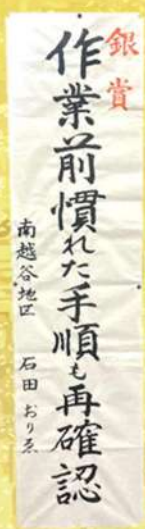
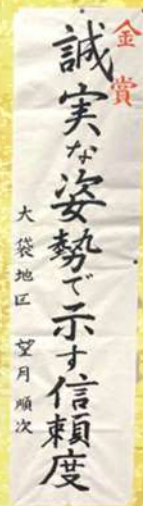


クレーム撲滅標語受賞者

金賞：誠実な 姿勢で示す 信頼度
(大袋地区 望月 順次会員)

銀賞：作業前 慣れた手順も 再確認
(南越谷地区 石田 おりゑ会員)

銀賞：あいさつは チームワークの 生みの親
(南越谷地区 田中 雅敏会員)



越谷市シルバー人材センター 頑張っています シニア世代、一緒に新たなステージを見つけましょう！



お仕事案内と女性会員の活躍



お仕事は、安心丁寧な「越谷市シルバー人材センター」へ
☎ 967-4311

襖・障子・網戸張り

- ・押入れ襖 片面……………
- ・普通障子……………
- ・普通網戸……………

専門の技術者がきれいに修繕します！



福祉・家事援助/清掃・軽作業

- ・水まわり清掃…………… 風呂場や洗面所の清掃
- ・部屋の清掃のみ…………… 水まわり以外の屋内清掃
- ・窓拭き清掃…………… 窓の清掃
- ・換気扇清掃…………… おもにプロペラ式の清掃
- ・買い物 ゴミ出し…………… 外出不可能なお宅のお手伝い
- ・電球交換…………… 蛍光管や電球の交換
- ・ほか軽作業



その他

- ・パソコン出張サービス…………… お客様宅にて個別相談・機器の設定
- ・空き家管理…………… 写真とレポートで管理・報告
- ・アパート マンション共用部清掃…………… 共用部をきれいに清掃
- ・ポスティング…………… ご要望に合わせてポスティング
- ・梱包 商品仕分け…………… 商品の梱包や仕分け

令和6年度で、人気一番は、**植木・除草のお仕事**です。
大変申し訳ありません。現在、需要が多く、現在待ち時間が長くなっています。
詳しい作業時期については、事務所へお問い合わせ願います。

- 植木の剪定 お手入れ…………… 作業可能な高さか確認します
- 除草 手刈り…………… 広さによっては機械を使用する場合あり
- ゴミ回収…………… 作業後のごみは、翌日業者回収いたします



こちらに掲載した「お仕事」はほんの一部です。
費用など詳細は、越谷市シルバー人材センター・ホームページもしくは 右のQRコードからご依頼ください。
お問い合わせは電話またはメールをご利用ください。

越谷市シルバー人材センター ホームページ
<https://webc.sjc.ne.jp/koshigaya/>



越谷市シルバー人材センターでは、女性会員の増員を図っています。

女性会員は、下記のように頑張っています。

- 1. 女性会員による **小町会** 2. 内職グループ **Smile** 3. 家事援助 **美助っ人**
- 小物作りやメイク・料理教室など グループの皆さんで作業しています 個人宅での清掃など



会員同士の親睦を図るための活動もしています

- 1. 事務所前にて月 2 回、会員さんが育てた『野菜販売』
- 2. 事務所特別スペースにて、常設の『図書コーナー』
貸出期間 1ヶ月間
- 3. 『フォークダンスの集い』 月 1 回
『さんぽの会』年 2 回 基本 春/秋
- 4. Enjoy にて、企画の発案・実施します
(Enjoy は、会員相互の親睦を目的に
結成された新規プロジェクト委員会)



新入会員 大募集しています。

越谷市シルバー人材センターでは、働く仲間を募集しています。
まだまだ仕事がしたい・地域社会の役に立ちたい・仲間作りがしたい方はいませんか？
入会希望の方は、市広報紙、または当センターHPで、入会説明会のご案内をご覧ください。

【入会の条件】

- ☆越谷市内に在住の60歳以上の方で、健康で働く意欲があり、センターの趣旨に賛同いただければ、どなたでも入会することが出来ます。
- ☆入会説明会参加希望の方は、下記までお問い合わせください。

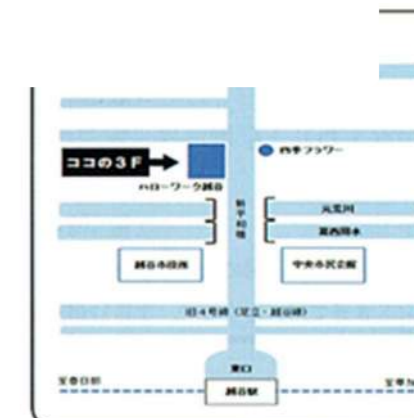
公益社団法人越谷市シルバー人材センター

〒343-0023 越谷市東越谷1-5-6
産業雇用支援施設 3階

電話 (048) 967-4311

メール koshigaya@sjc.ne.jp

H P <https://webc.sjc.ne.jp/koshigaya/>



連載：私たちの住む街

【第10弾 北越谷地区】

現在の『北越谷地区』は、かつての大沢と大房の一部だったが、「昭和44年に越谷市最初の区画整理により誕生した地区」だ。この地区では、やはり表紙の元荒川堤の桜並木が名所だろう。

元荒川桜並木・・・今では季節になると、数多くの市民や県内外から花見客が集まる名所。その歴史は明治時代に遡り、日露戦争勝利の記念として明治38年に瓦曾根から寺橋（宮前橋）まで植えられたのが始まりで、その後、徐々に上流に上った。現在の桜並木は昭和31年に宮本町の有志が元荒川両岸に植樹したのが始まり。以降、市など地元住民の協力で維持されている。



弘福院・・・『新編武蔵風土記稿』によると、「大澤山観音寺弘福院」と称され、御本尊は阿弥陀如来である。町の歴史を綴った『大澤町古馬宮』には、幕府御支配の為の書上帳に、慶長6年（1601）には過去帳の記載があったとされています。元禄2年円空が日光へ向かう途中、当院へ円空仏（阿弥陀如来の坐像（総高36.87cm））を奉納したという。



浄光寺

浄光寺・・・かつては利根川と荒川合流沿いの自然堤防上に立地した真言宗寺院で熊野山観音寺と号した。今でも梅の名所として親しまれている。江戸時代には、大同元年（806）創建と伝えられている大房薬師堂の別当寺として石高5石の朱印状を得ていた寺院。境内には享保3年（1718）奉納による青銅製の五体の如来像が納られており、「五智如来」という。高さ1.6mの「阿閼如来・薬師如来・大日如来・阿弥陀如来・釈迦如来」の五如来立像が安置されている。



越谷稲荷神社・・・場所は、文教大学前の出津橋から右岸桜並木裏にある。旧大房稲荷で勧請年代は不明。境内には永禄元年（1558）在銘の二十一仏板碑や庚申塔などが見られる。



おまけ

右の写真は、地図（赤線区域）の浦和から野田へ抜ける横断道路の未接続地の北越谷駅付近。

近い将来、4号バイパスとどんな形で接続されるのだろうか。

楽しみでもあるが、桜を残したいと言う市民の声も大事かと・・・



参考文献 市役所：越谷ふるさと散歩
越谷の歴史物語
教育委員会：越谷風土記

安全ニュース

安全管理委員会よりお知らせ



転倒事故多発！年齢が上がるにつれて危険性も上昇！

後期高齢会員の事故増加

令和5年度の傷害事故は右表のとおりです。9件中8件(89%)が75歳以上の会員が受傷した事故でした。令和4年度の同数値は8件中6件(75%)でしたので、75歳以上の会員の事故は発生数も割合も増加傾向にあります。

年月	性別	年齢	事故発生状況	程度
5.6	男	73	除草中、スズメバチに刺される	右手甲部の腫れ
5.7	女	75	横断歩道で自転車に驚き転倒	左鎖骨骨折
5.9	女	78	T字路で車と接触、自転車ごと転倒	膝打撲等
5.11	男	79	除草中、70 cm程の段差から転落	左肩骨折
5.12	男	81	就業中、通路段差で躓き転倒	鼻骨骨折
5.12	男	88	就業中、足を滑らせ転倒	右上肢打撲
6.1	男	86	就業中と帰宅途上に3回転倒	裂傷、右半身打撲
6.2	女	81	就業中、敷石に躓き転倒	右手首・膝骨折
6.3	女	75	強風にあおられ自転車で転倒	脚打撲

多発する転倒事故

事故発生状況を見ると、転倒事故(自転車含む)が9件中7件(78%)となっており、転倒による受傷が非常に多い結果となっています。上述の後期高齢会員が受傷した事故8件のうち転倒事故は7件でした。後期高齢会員の転倒事故の増加が、当センター安全管理上の大きな課題となっております。

転倒を防ぐには

転倒の主な原因としては(病気や薬の副作用除く)、加齢による筋力の低下とバランス感覚の衰えから咄嗟の反射的防御動作ができなくなるからと言われています。転倒を防止するためには、筋力やバランス力の維持が非常に大切になります。下記で連載しているフレイル予防運動等を参考に、日頃から体力維持を心がけましょう。

フレイル予防運動のご紹介 ～元気な体で安全就業を！～

「座ってつまさき上げ」

- ① 椅子に浅く腰をかけ、背筋を伸ばし、膝を90°に曲げて足を肩幅に開きます。
- ② かかとを地面につけ、つま先をすね側にひきつけ5秒静止し、足を戻す。

はじめは3回程度から、徐々に回数を増やして10回程度を目標に！

☆すねの筋肉を強くする運動で、躓きづらくなります。

※「少しきついな」と感じる程度が目安です。無理はせず、怪我をしないように注意！



越谷市シルバー人材センターでは、定期的にフレイル予防講座を実施しています。

会員以外の方も参加可能ですので、ぜひお越しください！

入会のご案内

越谷市シルバー人材センターでは、働く仲間を募集しています。生きがいの充実や、地域社会のために仕事をしたい方はお気軽にお問い合わせください。

1

説明会参加
申込み

まずは説明会への参加申込みを

説明会を毎月開催しております。開催日程をご確認のうえ、電話・メール・FAX・郵送のいずれかでお申込みください。オンライン説明会も実施しています。下記 QR よりご確認ください。

2

入会説明会

納得いくまで聞いてください

シルバー人材センターで働くことの意義やしくみ等を担当委員が詳しく説明いたします。ご不明な点があれば、納得のいくまで聞いてください。

3

接遇研修会
入会登録会

登録、そして仕事へ

シルバー人材センターの趣旨にご賛同いただけたら、登録となります。得意なことや経験があることなど、ご希望の仕事で地域に貢献していきます。



入会説明会では、事業内容を詳しくお話しします。



入会登録会では、お一人お一人のご希望を伺います。

※ 納得して入会していただくために、ご注意ください

- ①センターは自主的な会員組織で雇用・就職ではありません。
- ②入会後の収入や就業機会の保障はできません。
- ③ご紹介できる仕事は臨時的・短期的、又は軽易な仕事に限られます。
- ④センターの運営費として年会費(2,400円)がかかります。
- ⑤雇用保険、健康保険等の社会保険に加入はできません。



入会
説明会



オンライン
説明会



当センター
ホームページ

編集後記

私たちの住む街シリーズも、今回で10回目を迎えることが出来た。

毎回、苦慮しながら作成・編集をさせてもらっている。長文になると何処に「句読点」を入れたら良いかと悩むことが多々発生している。毎月の広報誌でも同じ悩みを感じている。

先日、テレビを見ていたら『マルハラ』という聞き慣れない言葉を取り上げていた。

最初は意味も分からず見ていたが、現在の若い人たちがそんな事を考えているのかと感じ始めた。

例えば、「じゃあ、また明日ね」というときに「さよなら。」という文にすると威圧的だという。句点がないと軽い気持ちで「また明日ネ」という感じになるが、句点(。)をつけると、そのまま、本当に「これでお別れ」という感じになるようだ。「さよなら！」にしたら最悪だそうだ。

ほかにも句読点を付けなくて SNS や SMS を使っているとのこと。

デジタルが進化したことで、若者中心かも知れないが、我々、高齢者には理解できないことばかりだ。

彼らが同じ年齢になる頃には日本語はどうなっているのだろうか？

新方地区 広報委員会委員長 島田 治